※令和３年度以前入学生用

学校番号	3008

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	実用総合数学	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	数学基本ワーク（増進堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

副教材を元にしたプリントを用いて授業を展開します。プリントを定期テストごとに１冊にまとめますので、のりを持参してください。就職試験の準備のための学習を多く含みますので、しっかり理解するように、不明なところはすぐに質問するようにしてください。

２　学習の到達目標

2 年生の科目「数学活用」の学習を発展させる。
計算の基礎、因数分解、1 次方程式、2 次方程式を着実に身につける。
将来社会で生きていく中で遭遇する数学的処理を必要とする問題が就職試験に多数出題される。
就職試験で得点できることを目標とする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数学の論理や体系に関心をもち様々な事象について、数学をいかに利用するかを積極的に探求し解決しようとする。	事象を数学的に考察し、図、図形、表などで視覚的に表現する。また、他の方法がないか考察を進め、多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	基礎的な計算、因数分解、方程式の他、さまざまな事象を数学的に表現・処理する仕方などの技能を身に付ける。また、就職試験で得点できるようにする。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	授業内容に集中しているか、積極的に考えようとしているかを個々に確認する。小グループで相談させる。	視覚表現について、生徒に思考の過程をプレゼンテーションさせる。小テスト、定期テストに出題する。	数学的に正しく表現し解決までの道筋ができているかを小テスト、定期テストに出題する。	小テスト、定期テストに出題する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	規則性のある数	・簡単な数列 ・場合の数 ・順列 ・計算	○			○	a:法則性を読み取る b:樹形図がかける c:P の計算ができる d:テストで確認	規則性の理解を確認し総合的に評価
1学期期末	集合と確率	・組み合わせ・確率 ・集合とベン図 ・素因数分解 ・展開と因数分解		○			a:単純性に気づく b:自分で考えベン図が描ける c:C の計算、確率が求められる d:テストで確認	問題を図式化できることを中心に総合的に評価
2学期中間	割合	・文章題　・食塩水 ・1 次関数 ・根号の計算 ・1 次方程式　連立方程式		○			a:日常生活での割合を考える b:割合を視覚化する c:根号の計算・連立方程式 d:テストで確認	問題を図式化できることを中心に総合的に評価
2学期期末	さまざまな図形	・1 次不等式 ・図形と角 ・相似な図形 ・円・図形の面積			○		a:図形の性質を理解する b:解答に至る図形がかける。 c:角度、長さを求める d:テストで確認	図形の性質を正しく利用し解答する
3学期	三平方の定理	・三平方の定理 ・計算の復習 ・虫食い算	○			○	a:法則に興味をもつ b:直角三角形を正しく描く c:辺の長さを求める d:テストで確認	三平方の定理を正しく利用し解答する

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。